

自由民主党同志会新聞

発行所
自由民主党同志会
主幹 福田 晃文

〒100-0014 東京都千代田区本町1-11-28
 総務本部 電話 2-54-0131
 編集 電話 03-5521-1755 FAX 03-5581-3300
 毎月日本発行 送料別 1年 12,000円
 (と紙幣317)発行 発行元 普通18日111795

昭和39年11月の自民
 党総選挙で戦后直後に
 佐藤首相が同志会に
 佐藤首相が同志会を
 先鋒と要愛を賜って
 育種された陣営である

同志会

青年と今



「同志会」は、わが同志会
 の婦人部隊の充実を願
 せん。それと現実の選挙
 を見ると、その候補者
 の中で、毎週日・火曜
 日には12時から14時まで
 その構想があったらいい
 たもので、6月から毎月
 に入り、婦人部からの政
 治の関の高さからわ
 りが、3000人の党
 婦人が参加、今回の定
 会へ、と一足飛びの運び
 となった。

「同志会」は、わが同志会
 の婦人部隊の充実を願
 せん。それと現実の選挙
 を見ると、その候補者
 の中で、毎週日・火曜
 日には12時から14時まで
 その構想があったらいい
 たもので、6月から毎月
 に入り、婦人部からの政
 治の関の高さからわ
 りが、3000人の党
 婦人が参加、今回の定
 会へ、と一足飛びの運び
 となった。

「同志会」は、わが同志会
 の婦人部隊の充実を願
 せん。それと現実の選挙
 を見ると、その候補者
 の中で、毎週日・火曜
 日には12時から14時まで
 その構想があったらいい
 たもので、6月から毎月
 に入り、婦人部からの政
 治の関の高さからわ
 りが、3000人の党
 婦人が参加、今回の定
 会へ、と一足飛びの運び
 となった。

「同志会」は、わが同志会
 の婦人部隊の充実を願
 せん。それと現実の選挙
 を見ると、その候補者
 の中で、毎週日・火曜
 日には12時から14時まで
 その構想があったらいい
 たもので、6月から毎月
 に入り、婦人部からの政
 治の関の高さからわ
 りが、3000人の党
 婦人が参加、今回の定
 会へ、と一足飛びの運び
 となった。

この日、東京・芝にあるザ・プリンスホテル芝パーク
 タワー東京の中華料理「陽明殿」で、自由民主党同志会の「婦
 人部隊」である「櫻柳会」の発足会を開かれた。途中、同志
 会の深谷隆司・前衆議院国際テロ対策特別委員会委員長が駆け
 つけ、壇上で熱弁を振るる大いに盛り上がった。

その名も
櫻柳会

その発足会で福田同志会会長が熱い思いを語る

自由民主党同志会に婦人部隊が誕生

その名も
櫻柳会



「ひとりの行動が社会を変える」

その名も
櫻柳会

要約を詳述が続いた後、
 瑞島東郷、神戸市から
 駆けつけた原野同党副
 会長が挨拶。
 そして、「同志会」の
 結成のため、会員集
 めに尽力した10名に、交
 流部役員会委員白河
 任次を手紙、フジセン
 ターは島田公起、大崎
 さい理に手紙した。その
 後は各様の飲み物を飲
 みながら中華料理を堪能し、
 出席者間の交流を一層深
 めた。

自民党の重鎮・深谷隆司氏が「櫻柳会」発足会に駆けつけ熱弁を振るう。

「私は負けない!!」

民主党に政権を渡すことはできない

会場の涙を誘った

満州での壮絶な体験談と戦後の赤貧生活

そして深谷隆司前衆議院議員の登場だ。深谷氏と福田会長とは早稲田大学からの親友で、40数年にわたる付き合いだといえる。また子供同士が青山学院幼稚園で同級生という縁でもあり、家族ぐるみの付き合いをしていく。深谷氏をして福田会長はまさに盟友であり、文字通り肝煎相手と称と公言するほど親交が深い。

その深谷氏が到着、万雷の拍手のなか壇上へ、深谷氏は、「ただいまご紹介いただいた衆議院議員、深谷隆司でございます。正確には、解散しましたので議員候補の深谷隆司で

ございます。」

と会場の笑いを誘う様子を切り出し、冒頭で記した福田会長との深い間柄を、ひとしきり語った。

続いて「少しお話の時間をとりたいので、質問をひとしきりお話ししようか(大拍手)と断り、子供たちの満州ハルビンでの壮絶な体験談を話した。

その一部を再現する。

「日本の開拓団は、中国人に襲われ、女の人は斃れられました。夜中に下カールと音がするのですが、それは手りゅう弾で、一心申した爆発音です。」

そんななかで、私たちが最後は「家で死のうと話していました。そのとき私たちは、もう日本に帰れない、本当に死ぬんだと思っていました。」

当時、満州に残された日本人の間では、かつての日本はないんだとの噂が流れ、それが常識になっていました。

そんな絶望的な、国家を失った国民ですから、夢など持つことができないという、逆境の中で、年々くらくらしてしまっ

で、その後、ようやく日本への引き上げが決まるのですが、それこそ野を越え、山を越えて、日本に着いたわけです。二度と帰れないと思つた二ツボン、国家を失ったものの悲しみ、子供心に強く印象づけら

れ、日本の土を踏んだとき、自分は一生かかっても政治家にならう、と思つたのが政治家への最初の出発でした。

こうして、ふるさと、日本に帰って来たもの、日本での赤貧流うような生活。

「上野の地下道で浮浪者のような暮らしを、一家で何週間も過ごし、当たり前、そこに住んだのです。」

私の親父は税關人でした。その父は私に「お前は政治家になれ、弟にはパイロットになれ」と言い続けていました。それでいつの間にか政治家になる意志をますます

強めていった次第です。そして私は27歳で台東区の区議会議員となり、弟は海上自衛隊の航空学生に受かり、パイロットの道に進みました。

その弟はその後、JALの社長、教官と経て無事、卒業。私と比べて都議から国会へと、当選したり落ちたりしながら、今日に至っているわけです。」

終始会場の涙を誘った、このような満州での体験、および戦後直後の日本での食うや食わずの時代を話す中にも、

「親父はじくになりましてけれど、その意志を継いだけれど、私は政治家、弟はパイロットになりました。思えば2人とも落ちるのが悪い事に就いたわけですよ。」

と、ユーモアも忘れな

「たゞいまご紹介いただいた衆議院議員、深谷隆司でございます。正確には、解散しましたので議員候補の深谷隆司で

ございます。」

と会場の笑いを誘う様子を切り出し、冒頭で記した福田会長との深い間柄を、ひとしきり語った。

続いて「少しお話の時間をとりたいので、質問をひとしきりお話ししようか(大拍手)と断り、子供たちの満州ハルビンでの壮絶な体験談を話した。

その一部を再現する。

「日本の開拓団は、中国人に襲われ、女の人は斃れられました。夜中に下カールと音がするのですが、それは手りゅう弾で、一心申した爆発音です。」

そんななかで、私たちが最後は「家で死のうと話していました。そのとき私たちは、もう日本に帰れない、本当に死ぬんだと思っていました。」

当時、満州に残された日本人の間では、かつての日本はないんだとの噂が流れ、それが常識になっていました。

そんな絶望的な、国家を失った国民ですから、夢など持つことができないという、逆境の中で、年々くらくらしてしまっ

で、その後、ようやく日本への引き上げが決まるのですが、それこそ野を越え、山を越えて、日本に着いたわけです。二度と帰れないと思つた二ツボン、国家を失ったものの悲しみ、子供心に強く印象づけら

れ、日本の土を踏んだとき、自分は一生かかっても政治家にならう、と思つたのが政治家への最初の出発でした。

こうして、ふるさと、日本に帰って来たもの、日本での赤貧流うような生活。

「上野の地下道で浮浪者のような暮らしを、一家で何週間も過ごし、当たり前、そこに住んだのです。」

私の親父は税關人でした。その父は私に「お前は政治家になれ、弟にはパイロットになれ」と言い続けていました。それでいつの間にか政治家になる意志をますます

強めていった次第です。そして私は27歳で台東区の区議会議員となり、弟は海上自衛隊の航空学生に受かり、パイロットの道に進みました。

その弟はその後、JALの社長、教官と経て無事、卒業。私と比べて都議から国会へと、当選したり落ちたりしながら、今日に至っているわけです。」

終始会場の涙を誘った、このような満州での体験、および戦後直後の日本での食うや食わずの時代を話す中にも、

「親父はじくになりましてけれど、その意志を継いだけれど、私は政治家、弟はパイロットになりました。思えば2人とも落ちるのが悪い事に就いたわけですよ。」

と、ユーモアも忘れな



「変節」「ブレる」民主党 政権運営能力のなさを露呈

国会議員として、郵政大臣を皮切りに自治大臣・国家公安委員長・通産大臣（その間に自民党総務会長）を歴任した深谷氏は、

「通産大臣のとき、戦いに敗れました（半成12年）。その次の選挙で再び立候補するのです。が「深谷はもうダメ」と、世間での風評でしたが、本人だけは「絶対返り咲いてやる」と思っておりまして、おかげ様で

30歳で5年がりのカムバックをはたす。そのとき深谷氏69歳。年齢との競争だったと振り返るが、この当選後すぐに、衆議院在任25周年の表彰を受けた。年齢は60代から70代になって、そんな25周年のお祝いのひとつとして、肖像画を作るのだが、それは十六議員会室に、さん然と飾られている。ちなみに、その絵は歌手の八代亜紀さんが、描いたものだという。最後は本題ともいうべき最近の政治について熱弁を振るす。

「再び、これからは厳しい時期を迎えようとしています。先の都議選は知つてのとおり、自民党は大惨敗でした。」



その責任もありません。反省点は多々ありますけれど、だからといって民主党に政権を取らせようとは思っていません。そんな簡単なものではなくて、そのために今度の選挙は、どんなことがあっても負けるわけにはいかない、と強く思っています（一夫拍手）

こう述べ、その民主党の安全保障に対する姿勢を中心に非難を展開。民主党の政権運営能力について、強く疑問を投げかけて、

「民主党が主張していることは、まったく話になりません。政権を取るなんて思っていないから、適当なことを吹かして、かつての社会党のようなことを言っているだけです。」

それがにわかには政権を取れる可能性ができたものですか。急にこれを切つて政策を変えたという現実を、ぜひ多くの人が知っていただきたいかと思ひます。

私はテロ対策特別委員長でありました。一番大事な国際貢献はインフラの給油活動で、この延長の法律を通すには、

大変苦労いたしました。参院では反対され、憲法59条でもう一度衆院に戻して、3分の2で可決という、非常に苦しい思いをしました。

その次がソマリア沖の海賊に対する法律です。ヨーロッパに向けての日本船舶2,000隻が、これが航路になっているのです。そこにアフリカのソマリアの海賊が無法の限りを尽くして、相当の被害を受けています。

その被害を守るために、海上自衛隊を派遣する。当たり前のごとで、ごさい反対いたしました。そして、ごく最近では北朝鮮に対する制裁です。国連決議に基づく船舶検査を行うことを決定したわけですが、この法案を衆院を通して、参院におくりました。ところが、民主党はその参院で開議決議案を提出し、可決いたしました。このため委員会が終わり廃案になりました。

つまり民主党は安全保障に関わる、この3つのご重要法案を、ことごとく反対したのです。これによって民主党が、もし政権を取つたならば一体どういうことになるのでしょうか。これまでの一連の動きをご覧いただければ、ご理解いただけるものと思ひます。

その民主党が最近、インド洋の給油活動を容認するよう動きをしていまして、だったら、あの反対の心境でございませぬ。

民主党マニフェストの 欺瞞を的確に鋭く追及

ときあたかも、民主党が衆議院マニフェストを発表した次の日だ。深谷氏は同マニフェストの欺瞞性を鋭く指摘する。

「民主党は子供手当として、中学卒業まで1人当たり26,000円を支給する、と言っています。わが国には児童手当というのがあるのです。この児童手当は私たちが4回の法律の改正で今日まで繰り上げてきたものです。それを全部反対したのが民主党です。それが、いまになって月26,000円の大幅振る舞いです。この対象となる子供は、1,850万人に上りますので、約5兆8,000億円が必要で、同時に民主党は配偶者控除や児童手当などを全部やめると言っています。これをやめると、どうなるかといえます。控除された税金がなくなり、2,600万円から引かなければなりません。そうすると、実質4,000円

対は何だったのか、その責任をどうはらってくださいますか。この言いたくらいの心境でございませぬ。」



ぐらいになりませぬ。しかも、子供のいない専業主婦の方々に取りまわす。すべての控除がなくなるのですから、これは増税であります。こうしたことは、マニフェストには、まったく書いておりません。つまり、まやかしの案です。そのうえ、この子供手当では子供に支給されるのではなく、親に支給されるものです。一体本当に、子育てのために使われるのではありませんか。すべてが立派な親と見限りませぬ。それに5兆8,000億円もの巨額なお金を捻出さむというのです。それが案外受けているのです。選挙に勝ちさえすればいいという、そんなやうな方で国の財政が持つわけはありませぬ。こうしてマニフェストの例を挙げただけでも、民主党のマニフェストにはこれだけ欺瞞性を持つているのです。そんな民主党に政権を渡すことはできません。

日本の将来を考えましたら、自民党はこの戦いで勝つしかない。そう思うので、微力ではありますが、全力をあげて頑張っている最中でございます。

今年の夏は格別猛暑が続くようです。ある週刊誌には、この選挙戦で自民党の候補者は年寄りが多いから、相当に倒れて死ぬのじゃないか、冗談半分で書いてありますが、私は若くよかったです。私は若くよかったです。と思つていきます（笑）。

いすれにしても、こんな厳しい時代を迎えて、私たちが自民党政治家は微力ではありますが全力をあげて、頑張つてまいります。その我が党を支えてくれている自由民主党同志会が、福田会長のような立派な方が中心となつて、ぜひマニフェストアップしていただくを、心からお願い申し上げます。皆様方のお顔を見て、またまた申し上げたいことが沢山ありますが、ここで終わりますので、これで終わりますので、どうぞを縁に皆様と一緒に、大事なマニフェストを守るために、ともに頑張つてまいります。と思う次第でございます。何卒よろしくお願ひいたしました。きょうは本場に有難うございました。この結句は大拍手、大歌声の会場を後にした。

民主党の「マニフェスト」を改めて検証する

刻一刻と迫る投票日 各候補者最後の追い込み!!

「責任政党」としての 自民党マニフェスト

真夏の決戦——8月18日衆院選挙が公示され、30日の投票期に向けて、各候補は最後の追い込みに入っている。ここで改めて自由民主党のマニフェストの骨子を列挙する。

財源が無責任で 極めてあいまい

それは「日本を守る責任力」と題し、麻生首相が掲げる「安心・安全社会の実現」のため、子育てへの充実を全面的に打ち出している。

- 今後4年間で5.15歳児に対する幼児教育の無料化
- 高校や大学で新たな給付型奨学金や就学援助制度を創設
- 低所得者の授業料を無償化
- 消費税を含む税制抜本的改革は、11年度までに必要な位置を講じ、経済安定の好転後、遅滞無く実施する
- 経済対策を継続し、10年度後半に年率2%の経済成長
- 道州制の基本法の早期制定、17年度までに道州制を導入
- 70歳現役社会の実現
- 次の次の総選挙から衆議院議員数を削減し、10年度に定数を3割以上削減、世襲候補の制限

一方の民主等のマニフェストを、改めて検証してみる。

「はらぬ懸念を盡く残す」(朝日新聞)
「財源なお不透明」(毎日新聞)
「財源・投資あいまい」(読売新聞)
「読売新聞」



政権交代。

「財源が無責任で、極めてあいまい」といふのが、多くの識者の一致した見方だ。

鳩山代表は、これらの財源として、一般会社・特別会社・税の総支出299億6570万円のうち70万円を対象に「全面組み換え」を実行する、という。そのほか、無駄の排除を徹底し、「理髪金」の活用や、子供手当で導入に伴う所得税の控除見直しなどによる増税分を当て込む、とする。

その一方で消費税は4年閉封するという。だから「手品でハトが出るような話(一党独断)」の声が上がるのも、うなずける。

ところが、この点を記者団に突っ込まれると、鳩山代表は、「英国でも野党が財源について、責任を持って申し上げる必要はない」と言われている。

この発言が飛び出す始末だ。

ある政治評論家がこの民主党のマニフェストについて、「一論評する」「財源を確保できるかどうかについて、余りにも不透明な部分が残る。選挙対策を優先したものの印象だ。さらに私どもが聞きたいのは、この発表されたマニフェストに載っていないこと、つまり4年閉封の問題や対米関係です。外交問題は、緊要で対等な日米同盟」と書いているだけ、極めて抽象的だ。また安全保障政策については、ほとんど触れていない。

こんなマニフェストで政権についても、国民の期待を裏切り、一刷の政治不信を招くだけだ。さらに、民主のブレは相当なものだ。たとえば「インド洋での海上自衛隊による給油活動」、鳩山代表は中止に断れず、当面継続する姿勢を示した。しかし、この問題は与野党全面対決で4ヶ月間閉封中断に追い込まれたのだ。

民主がこれに反対した場合は、自衛隊を派遣するは憲法違反だ、と言ってきた。これには麻生首相は「早退」あるいは憲法違反だ、今は憲法を日本同盟」と書いているだけ、極めて抽象的だ。また安全保障政策については、ほとんど触れていない。

こんなマニフェストで政権についても、国民の期待を裏切り、一刷の政治不信を招くだけだ。さらに、民主のブレは相当なものだ。たとえば「インド洋での海上自衛隊による給油活動」、鳩山代表は中止に断れず、当面継続する姿勢を示した。しかし、この問題は与野党全面対決で4ヶ月間閉封中断に追い込まれたのだ。

民主がこれに反対した場合は、自衛隊を派遣するは憲法違反だ、と言ってきた。これには麻生首相は「早退」あるいは憲法違反だ、今は憲法を日本同盟」と書いているだけ、極めて抽象的だ。また安全保障政策については、ほとんど触れていない。